

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度 (最低1m)	行わない	個人や少人数での 感染リスクの低い活 動で短時間での活動 に限定
レベル2	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); font-size: small;">収束局面</div> <div style="text-align: center; margin: 0 10px;"> ↓ 感染リス クの低 い活動 から徐 々に実 施 </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">拡大局面</div> <div style="text-align: center; margin: 0 10px;"> ↑ 感染リ スクの 高い活 動を 停止 </div> </div>	感染リスクの低い活動 から徐々に実施し、教 師等が活動状況の確 認を徹底
レベル1	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	適切な感染対策を行っ た上で実施	十分な感染対策を行 った上で実施

(参考)

本マニュアル	新型コロナウイルス感染症対策分科会提言(※)における分類	
レベル3	レベル4 (避けたい レベル)	一般医療を大きく制限しても、新型コロナウイルス感染症 への医療に対応できない状況。
	レベル3 (対策を強 化すべきレベル)	一般医療を相当程度制限しなければ、新型コロナウイル ス感染症への医療の対応ができず、医療が必要な人への 適切な対応ができなくなると判断された状況。
レベル2	レベル2 (警戒を強 化すべきレベル)	新規陽性者数の増加傾向が見られ、一般医療及び新 型コロナウイルス感染症への医療の負荷が生じはじめてい るが、段階的に対応する病床数を増やすことで、医療が 必要な人への適切な対応ができている状況。
レベル1	レベル1 (維持すべ きレベル)	安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染 症に対し医療が対応できている状況。
	レベル0 (感染者 ゼロレベル)	新規陽性者数ゼロを維持できている状況

※「新たなレベル分類の考え方」(令和3年11月8日新型コロナウイルス感染症対策分科会)